

大会名称: 第61回国民体育大会(のじぎく兵庫国体)

バスケットボール競技

開催場所: 姫路市立中央体育館 Bコート

試合区分: No. 104 成年男子 1回戦

期 日: 2006(H18)年10月1日(日)

主審: 関口久視

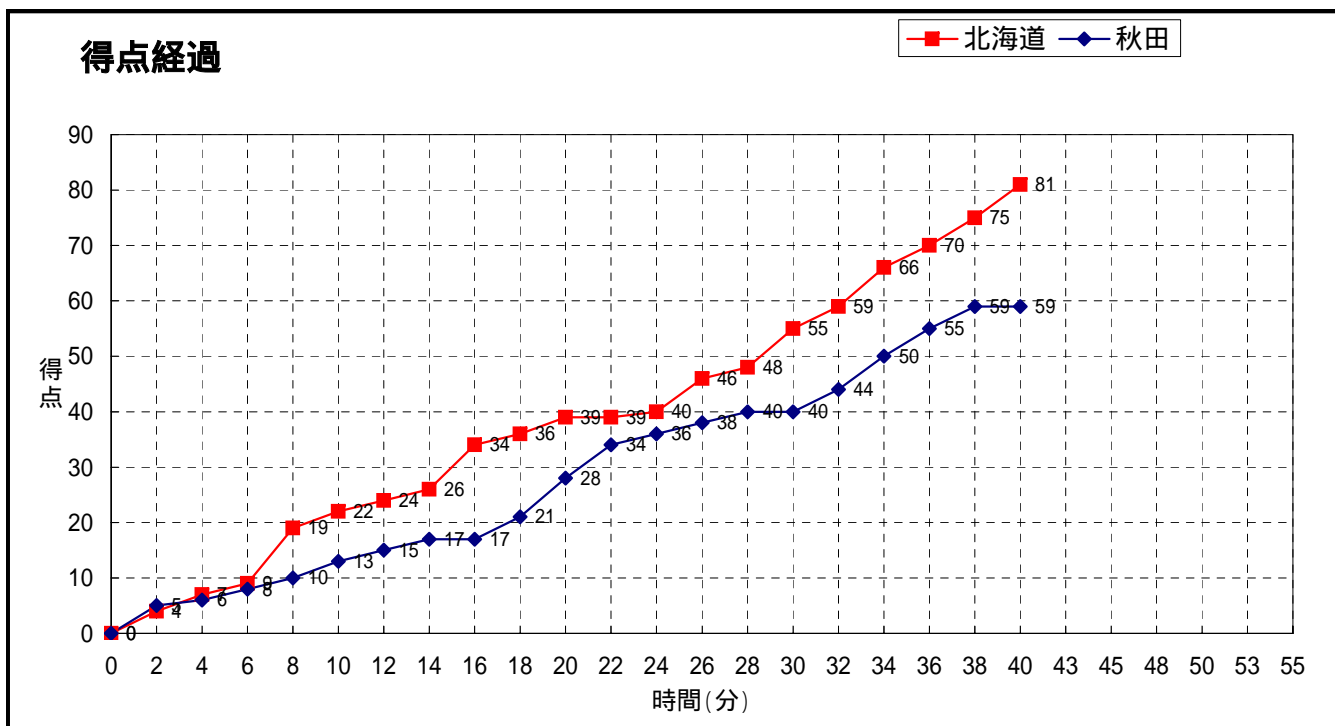
開始時間: 11:45

副審: 岩木太郎

終了時間:

北海道						81					59					秋田				
(北海道)																(東北)				
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F					
4	*	義達 智	22	2	6	4	3	4		佐藤 哲朗	1	0	0	1	3					
5	*	片桐 圭裕	4	0	0	4	3	5	*	佐藤 靖浩	16	0	7	2	2					
6	*	広瀬 慎一	0	0	0	0	4	6	*	小野 弘樹	8	0	3	2	3					
7	*	後藤 崇	29	4	6	5	3	7		菅 佑喜	-	-	-	-	-					
8	*	片山 貴雄	7	0	3	1	0	8		佐藤 正司	2	0	1	0	3					
9		込山 覚徳	6	0	3	0	3	9	*	齊藤 直樹	2	0	0	2	5					
10		宮腰 裕一	7	2	0	1	2	10	*	若月 徹	9	0	3	3	0					
11		大西 弘太郎	4	0	1	2	0	11		田中 学	8	0	4	0	0					
12		大塚 隆広	0	0	0	0	0	12	*	菊地 勇樹	13	3	1	2	5					
13		山本 洋平	0	0	0	0	0	13		村山 範行	0	0	0	0	1					
14		竹中 克守	2	0	0	2	2	14		二田 洋志	-	-	-	-	-					
15		牧 佑一	0	0	0	0	0	15		佐々木 学	0	0	0	0	2					
コーチ 坂井 良昭									コーチ 千田 裕之											
合計			81	8	19	19	20	合計			59	3	19	12	24					

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール



ゲームレポート

第1ピリオド、北海道のシュートで先制。両者ともディフェンスは、マンツーマンディフェンス。互いに激しいディフェンスで一進一退の攻防が続く中残り3分、北海道#7後藤の連続3Pシュートなどの連続10得点で秋田を一気にはなし、北海道が22 - 13とリードで終えた。

第2ピリオド、開始早々、秋田は激しいマンツーマンディフェンスで北海道にプレッシャーをかける。秋田#11田中のミドルシュートをきっかけに秋田が24 - 17と追い上げを見せるが、北海道#7後藤、#4義達の3Pポイントシュートで再び34 - 17とする。前半は北海道が39 - 28で終えた。

第3ピリオド、秋田#5佐藤のローポストの1on1で先制。秋田はこれで流れをつかみ、#10若月、#6小野のシュートで39 - 36と一気に差を縮める。しかし、北海道は#4義達、#7後藤の3Pシュート、ドライブで秋田の追い上げを阻み、48 - 38とし、最後は北海道#11大西のバスケットボールカウント、#10宮腰の3Pシュートで北海道が55 - 40とリードで終えた。

第4ピリオド、秋田は開始からオールコート2 - 2 - 1のゾーンプレスから2 - 3のゾーンをはる。北海道のターンオーバーを誘い、#6小野の速攻のレイアップシュートなどで流れをつかみにかかる。残り6分秋田は#12菊池の連続3Pシュートなどで62 - 53とする。その後、互いに激しい攻防を見せ、最後まで秋田に逆転させるスキを与えなかった北海道が81 - 59で勝利した。

担当者: 松本 裕美子 (兵庫県バスケットボール協会)

(財)日本体育協会・(財)日本バスケットボール協会